

[退職のご挨拶]

退職のご挨拶

曾根 秀昭

このほど定年退職となり、記事の依頼がありました機会に、ご挨拶申し上げます。

東北大学サイバーサイエンスセンターの前身となる大型計算機センターには 1992 年に工学部から移りました。申し訳ないことにコンピュータもネットワークも私の研究分野ではなく素人でしたが、振り返ってみるとその数年前から本誌 SENAC に利用事例報告などを書いておりました。もともとラジオ少年に発してそちらへの課外活動的な興味はあり、大型計算機センターのプログラム相談員や (TOPIC の前身となった) 第二地区計算機利用協議会連絡会、あるいは TAINS 利用研究会を通して、大型計算機センターの教職員や学内外の幅広い利用者の方々とはつながりをいただいております。大学入学の前に、国内のコンピューターメーカーを 3 グループに整理して大学の大型計算機センターと組み合わせるということを新聞記事で読んだり、コンピュータが通信するようになって海外ともネットワークがつながるがネットワーク制御や運用を研究しなければならないと東北大学の先生から高校の講演会で聞いたりした覚えがありますが、自分が職として係わることはもちろん想像しておりませんでした。

大型計算機センターから情報シナジーセンターへの改組を経てサイバーサイエンスセンターまで、いろいろな情報環境のシステムとサービス運用の業務に携わる経験をしながら、多くのご支援を得て様々な困難と克服を含めて楽しませていただきました。インターネット技術の拡大期には、学外のネットワーク研究グループから地域ネットワークや広域広帯域ネットワークなどの実践的共同研究にお誘いをいただき、あるいは大学協同の認証基盤やサイバーセキュリティ対策への取組みのなかで、他大学や産・官あるいは国外にも広く知り合いを得ることができました。さらには地元や全国協働の情報技術人材育成にもお声がけをいただき、学内外で貴重な経験をさせていただきました。反面、これらの取組みを継承していただけるような引継ぎが至らなかったことは申し訳なく悔やんでおります。

これまでお世話になり支えていただいた方々は数多く、失礼ながら誌面をお借りしてまとめてお礼申し上げますとともに、皆様のますますのご発展もご期待申し上げます。